

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和元年9月3日（火）

午後2時00分 開会

午後2時22分 閉会

○ 場 所 第2常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	真喜志晃一
委員	上里広幸
委員	玉城健一郎

副委員長	桃原功
委員	宮城克
委員	石川慶
委員	桃原朗
委員	栄田直樹

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（1名）

議事担当 主 査	大城拓也
-------------	------

○ 協議案件

8月27日の普天間基地所属米軍ヘリCH-53Eへの落下物事故について

# 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和元年9月3日（火）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後2時00分）

---

## 【協議事項】

○知名康司 委員長 今回の委員会招集に至った経緯等について招集請求者である桃原功議員より説明をいただきたい。

○桃原功 委員 報道でご承知のとおり、8月27日に普天間基地所属米軍ヘリCH-53Eヘリの部品が本島東海岸沖約8キロメートルに、重さ約1キログラムの窓を落下させる事故が発生した。その事故について、県や関係自治体に連絡があったのは2日後の29日であった。前回の浦添市立浦西中学校への落下物事故から3カ月も経っていないにもかかわらず、再びこのような事故が続けて起きている。人口密集地で訓練を行っているというのに、米軍の機体整備にしても緊張感が感じられない。この現状について基地関係特別委員会でしっかり議論をして抗議をしていくべきと考えている。

○知名康司 委員長 委員会で当該案件を取り扱うことについて御異議ありませんか。  
（「異議なし」との声あり）

○知名康司 委員長 今回の事故について、委員会で取り扱っていくことに決定する。それに当たり、招集請求者から抗議決議・意見書の文案が提示されているため、目通しをお願いしたい。

○石川慶 委員 本市の状況及び県・他市の状況を把握していれば伺いたい。

○事務局 市当局に沖縄防衛局から連絡があったのは、8月29日16時55分にメールにて連絡があった。内容については、報道にあるとおりであった。翌30日午前には、沖縄防衛局企画部長が市長へ事件の説明に来庁し、午後には議長・基地関係特別委員会委員長へ説明があった。また、今回の事故に対する米軍側の見解・今後の対応について、同日に再度沖縄防衛局よりメールにて連絡があった。県は、現在抗議決議書等を出す方向で調整しており、那覇市議会は6日の開会日に決議書等を提案するとの報道があった。

○宮城克 委員 文案等の調整のため、一旦会派持ち帰りとしていただきたい。

○上里広幸 委員 会派持ち帰りとするのはいいが、今後の本会議上程の日程等も協

議しておいたほうがよいと考える。

○事務局 今後の本会議上程の候補日は、6日の開会日、10日の質疑・委員会付託、18日の中間表決、27日の最終日と考えている。

○知名康司 委員長 本日は文案調整のため会派持ち帰りとし、次回の委員会は、令和元年9月10日(火)の本会議・議会運営委員会終了後に行うということによいか。

(「異議なし」という者あり)

**【協議結果】**

今回の落下物事故を委員会で取り扱うことに決定し、決議文・意見書の文言等の調整及び直接要請を行うかどうかを会派で調整する。次回の委員会は令和元年9月10日(火)の本会議・議会運営委員会終了後に行う。

---

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午後2時22分)